

【河川】 第9回 子吉川圏域 流域治水協議会を開催しました！

令和6年8月22日
秋田河川国道事務所

1. 概要

○子吉川では令和6年7月25日からの大雨により、堤防の決壊や越水による氾濫被害が発生したことを踏まえ、子吉川流域の「流域治水対策」を集中的に推進するため、流域治水協議会を緊急開催。今後、早期に子吉川圏域緊急治水対策プロジェクト策定のため、関係機関等と更なる連携を図ることを共有した。

2. 開催日／実施状況

- 日時：令和6年8月22日(木) 14:00～15:30
- 場所：由利本荘市消防本部4F 大会議室
- 出席者：由利本荘市長、にかほ市長、林野庁東北森林管理局由利森林管理署長、気象庁秋田地方気象台長(水害対策気象官)
秋田県総務部危機管理監、秋田県農林水産部長(次長)、秋田県建設部長、秋田大学名誉教授 松富英夫
東北地方整備局河川部長、鳥海ダム工事事務所長、秋田河川国道事務所長

協議会内容

- 議事内容
 - (1) 令和6年7月25日からの大雨による出水の概要及び国管理河川の被害状況
 - (2) 由利地域振興局管内における県管理河川の被害状況について
 - (3) 由利本荘市における洪水被害等の状況について
 - (4) にかほ市における洪水被害等の状況について
 - (5) その他 鳥海ダム建設事業の現状と今回の洪水被害に対する効果について
- 意見交換
- 情報提供
- 今後の流域治水対策プロジェクトのスケジュール案について



湊由利本荘市長

市川にかほ市長

秋田大学
松富名誉教授

林河川部長



秋田県
川辺建設部長

秋田県
菅生危機管理監

沢田鳥海ダム
工事事務所長

松本
事務所長

3. 意見交換 主なコメント等

【学識経験者 松富秋田大学名誉教授より】

・今後の流域治水対策を進める上で、今回の堤防決壊を契機とし、強靱な堤防等の検討が必要。また、雨の規模や今回の洪水以外の降雨パターン等も視野に検討してほしい。内水対策も必要であれば検討してほしい。流域治水は管理者や住民みんな意識し準備しておくことが重要。

【由利本荘市長より】

・今回の出水対応では国から河川の状況を共有していただき、迅速に避難情報を発令できた。緊急時の対応ではマンパワー不足を感じたことから、今後各関係機関とのさらなる連携・情報共有等が不可欠のため、引き続き協力をお願いする。

【にかほ市長より】

・県の河川改修の効果を実感した。気象台の情報とハザードマップが避難情報発令に有効だった。6月に実施した避難訓練が生かされたことから、日頃からの備えの大切さを深く認識した。

【東北地方整備局 河川部長より】

・地域特性にあった流域治水の考え方・検討が必要。